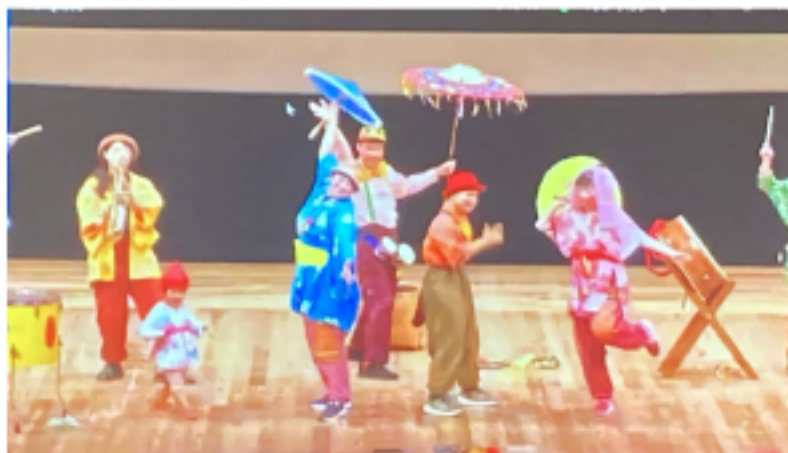


第69回日本母親大会 in 和歌山

日本母親大会実行委員会主催の第69回日本母親大会in和歌山が、9月28日と29日で開催され、全大会の28日は、9,000人の参加者で会場は埋め尽くされ、オンライン参加も含めると11,200人が日本母親大会に参加しました。八幡西民商婦人部は、民商事務所でオンライン参加を行いました。役員・事務局合わせて6人の参加です。



チンドン楽団「トンカラポンガ」の皆さん

オープニングは、チンドン楽団「トンカラポンガ」によるチンドンパフォーマンス。なかなかユニークで明るく楽しいメンバーのパフォーマンスはみんなで楽しめました。



日本母親大会代表委員 米山淳子さん

開会宣言のあと、議長・主催者・歓迎・来賓のあいさつが続き、記念講演へ。記念講演は、「第五福竜丸、みんなの船 ～ビキニ水爆実験70年、世界のヒバクシャとともに核兵器なき地球を～」と題して、安田和也さん（東京都立第五福竜丸展示館学芸員 第五福竜丸平和協会専務理事）が、古座

造船所で建造された第五福竜丸が被災した経緯や原水爆禁止署名運動の広がりなどを解説。「第五福竜丸は、核も戦争も無い“平和の港”にいかりを下ろす時に初めて航海を終えられる。命と暮らしを守る平和な港めざして一緒



記念講演の安田和也さん

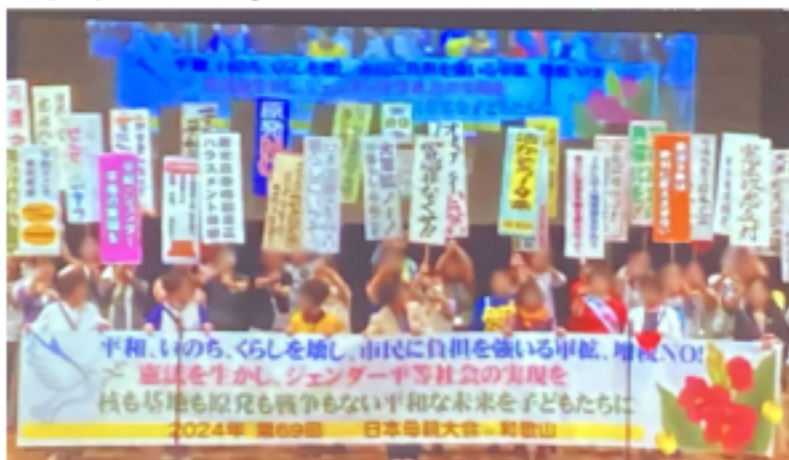
に航海しよう」と、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める運動を呼び掛けました。

休憩を挟んで、文化行事うたごえを鑑賞し、全員のエール交換を地域別に行い盛り上がりしました。今日の運動では、多くの方が日々の運動のことや訴えをしました。

大会決議、大会アピールでは、満場一致で採択されました。

次回の第70回日本母親大会は9月28日（日）東京に決まりました。

最後に、全員で「いま わたしたちは」を合唱し無事大会を終えました。



運動交流を行ったみなさん

【感想】

オープニングのチンドン楽団「トンカラポンガ」がとてもユーモラスで、見ていて元気が出ました。記念講演は、福竜丸の事、世界各地で行なわれてきた核実験や、何も知らされないまま作業員として携わった人々の被爆の事など、知らない事ばかりの話でした。女性ばかりでなく西民商のみんなに、参加してほしいと思いました。

婦人部部長 水元

ビキニ水爆実験が、第五福竜丸だけでなく、もっと多くの国の船などが被災していた事実、本当の事は知らされていない…。日本も早く核兵器禁止条約を批准してほしい。

婦人部副部長 大谷

大国の核実験によって、兵士、地元民など立場の弱い人々が、ヒバクシャとなっていた事が非常につらいです。

婦人部役員 岩崎

日本母親大会にオンライン参加しました。第五福竜丸の事は、テレビで見聞する程度の知識しか持ち合わせていませんでしたが、講師の安田和也さんの話を聞いて、悲惨な現状と私達には知らされていない世界各地での原水爆の実験の現状などを詳しく知り得る事が出来ました。

前半と後半の休憩時間を利用して和歌山各地の名所や風景が流れたのは良かったと思いました。オープニングのちんどん楽団が明るく楽しい気持ちになりました。

婦人部役員 森川

第五福竜丸の水爆実験の事は知っていましたが、今回とても詳しく分かりやすいお話で良かった。非人道的な事が行われて、多くの苦しむ世界の人々、核兵器禁止条約に日本は批准し、ヒバクシャに寄り添ってほしいです。平和・暮らしを守る為に、対話外交で信頼を築く事は大切なことです。

来年は被爆80年、平和としっかり向き合う年だと思いました。

婦人部担当事務局 正岡



民商事務所でオンライン参加の様子